

ユビキタス情報社会

ネットワークのブロードバンド化や携帯端末の普及によって、「情報」は社会生活の一部となりつつある。いつでも、どこでも、だれでもが、携帯情報端末など身近に存在するさまざまな機器から情報にアクセスして活用したり、逆に自ら情報を発信したりすることが可能な社会を「ユビキタス情報社会」と言う。これまで主として企業用途を中心に発展してきたITシステムが、ユビキタス情報社会では人々の豊かな生活を支える基盤としても重要性を増してくる。

サービスプラットフォーム

一般に、アプリケーションプログラムを動作させるための前提となるハードウェアや基本ソフトウェアを「プラットフォーム」と言う。日立製作所は、ユーザーシステムの基盤となるサービスを幅広く提供するものとして、いわゆるプラットフォームに加えて、それらを密結合させるミドルウェアと、その上でユーザーシステム構築を容易化するアプリケーションフレームワークまでを含む広い概念を提唱し、サービスプラットフォームと名付けた。

ポリシーベース

システムリソースの増減や負荷の増減など、さまざまなシステムの状態変化に対して必要となる保守作業の要否の判断などを「ポリシーシナリオ」としてあらかじめシステムに組み込んでおき、それに基づいてシステムの運転などを行うことを言う。

プロアクティブ化

一般的には、事象が発生する前に対処しておくことを指す。本誌では、システムリソースの動向をモニタリングして分析し、リソースの追加などが必要と思われる事象が起きる前に、あらかじめ必要と考えられる追加などを自動的に行うことを指す。

プロビジョニング

サーバやストレージといったシステムのリソースをひとまとめにして「リソースプール」で管理し、業務拡張や負荷増大に合わせて適切なタイミングで業務に割り当てることを言う。物理的な結線は最初に一度だけ行っておき、割り当て時のつなぎ替えはソフトウェアによって制御する。

ファウンデーションミドルウェア

サーバ、ストレージ、ネットワーク機器など、混在するITリソースを仮想化し、その複雑さを意識することなく統一的に制御、管理できるようにするためのミドルウェアを言う。

TMS-4V/SP(Transaction Management System-4V/System Product)

日立製作所のメインフレーム上でオンライン トランザクション システムを実現する製品で、中規模から大規模のメインフレーム上で動作し、金融・証券向けのデータコミュニケーションとデータベースの両方の機能を備えたオンライン トランザクション システムである。

本特集に関連するウェブサイト

●Harmonious Computing http://www.hitachi.co.jp/harmonious/

Harmonious Computingに関する最新情報を提供しています。
 ユビキタス情報社会に必要なことは何か、それを日立製作所がどのように解決し、お客様に何を提供していくかをわかりやすく解説したホワイトペーパーや、プラットフォーム製品やアプリケーション開発用製品についての日立製作所の取り組み・方向性を示すブループリントなど、Harmonious Computingについて詳細にご理解いただけます。また、関連製品へのリンクも充実しておりますので、ぜひご覧ください。

●ハーモニアス・コンピテンス・センター http://www.harmonious.jp/

ハーモニアス・コンピテンス・センターでは、お客様のシステムのコンセプトデザイン、評価、運用などのための多目的検証スペースを提供しています。

HITACHIビジュアルマガジンでは、「ハーモニアス・コンピテンス・センターのご紹介」と題した動画を配信しておりますので、ぜひご覧ください。